



沖縄県恩納村

— 青と緑の躍動する村 —

NO.107
平成23年2月28日発行

議会だより

うんな



シリーズ・字の自慢 (第16回：恩納)

歴史を語り伝統文化を育む「踊いガマ」^{うど}

恩納の集落から離れた中根（小字名）の海岸に隆起石灰岩の海食洞（ガマ）があり「踊いガマ」と呼ばれている。そこは恩納区民にとっては昔に思いを馳せる場所である。

「踊いガマ」の由来は、古来より8月村芝居の古典舞踊と組踊に配役されたニーセーター（若者達）がそのガマにこもり、旧暦の8月1日から10日後の本番まで稽古をしたことによる。

そのニーセーターはガマシンカと呼ばれた。また、配役されなかったニーセーターは水汲み、薪取り、炊事班となり、稽古期間は帰宅せずにガマ内で共同生活を送った。

「踊いガマ」での稽古は戦争等で一時中断した時期もあったが昭和24年まで行われていた。

現在は「踊いガマ」での稽古は行われていないが先人達の意味と伝統を引き継ぐために豊年祭の当日には「長者の大王」の舞いが奉納される。

「踊いガマ」は恩納村の文化財に指定されている。

（記事執筆委員 又吉 薫）



情熱の歌人
うんなナビ

もくじ

- 大学院大学開学間近 P 1
- 審議結果一覧 P 3
- 一般質問 P 6
- 編集後記 P 13
- トピックス 陳情・委員会発議 P 14
- 議会の動き P 15

大学院開学間近

大学院用地の無償貸付について整備機構と話し合う

大学院大学構想は平成13年6月頃から内閣府において沖縄県内へ設置が検討され、26市町村が国、県に対して誘致要請が行われてきました。

本村でも村民会議を立ち上げ、総決起大会を開催し、村議会も村と連携して誘致活動を行ってきました。

大学院大学誘致に至るまでの経緯

大学院大学の目的は沖縄をアジア・太平洋地域の先端の頭脳集積地域として発展させることにあります。

大学院関係者と地域との交流により村民や将来を担う子ども達の意識が改革され、大学院大学や科学技術への向学心がめばえ、人材育成にもつながり、村内外の経済発展に波及していくことが期待されています。

人材育成と経済発展を願う

候補地として糸満市、北中城村、恩納村が選定され、検討会や関係機関が現地調査を実施し、比較検討が行われました。

その結果、平成15年4月11日に自然環境に恵まれた本村が選定されました。



▲子ども科学教室



沖縄科学技術大学院大学建設の経緯と村議会の行動

- 平成13年6月 内閣府が沖縄に大学院大学の設置構想を提唱
- 平成13年8月 村議会が大学院大学の設置に関する意見書を関係機関へ提出
- 平成14年6月 村議会において大学院大学の設置要請決議書を全会一致で可決
- 平成14年7月 村長、村議会が内閣府へ大学院大学誘致要請する
- 平成14年9月 大学院大学誘致恩納村総決起大会の開催
- 平成14年11月 沖縄新大学院大学推薦検討委員会において恩納村が三候補地に内定
- 平成14年12月 北部市町村議会議長会が設置要請決議を可決
- 平成15年4月 恩納村へ沖縄新大学院大学の誘致決定
- 平成17年9月 独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構（OIST）発足
- 平成18年11月 現物出資議会で議決
- 平成19年3月 キャンパス造成工事着手
- 平成21年7月 現物出資用地に係る宿泊施設整備事業について議会への説明会
- 平成22年3月 本キャンパス一部供用開始

条件整備進む

大学院用地の無償貸付について整備機構と話し合う

開学は24年

大学院大学にかかる村有地は現物出資の形で提供してきました。平成23年より独立行政法人から学校法人への移行後、無償で貸付が出来ることを大学院側より承認を求められました。

開学にともない新たに学校法人沖縄科学技術大学院大学学園になり、学園設立時には機構は解散することになります。

そして、新たに大学院大学学園と村有地の無償貸付の契約を結ぶことが必要になり、議会で審議の結果、可決されました。

進捗状況と門前町構想が議論される

これまで機構が整備してきた宿泊施設、研究棟、また、将来、誘致する民間企業の研究施設の建設や管理に村内業者が参入できるのか。

さらに本村、地元谷茶区との関わりについて沖縄県の構想などの説明と質疑応答が行われました。

●平成24年2月に学生を受け入れる予定で条件整備を行っている。

●造成工事等は村内業者も受注している。

議会での説明会(機構)

●研究棟建設は一定程度の資格が必要で村内業者が請けるのは難しい面がある。

●村内各学校での講演会、子ども科学教室を開催している。

●講堂が完成すれば村民にも利用できるように開放したい。

人材育成と経済効果は(機構)

●研究棟建設に集中しすぎた。

●県、村、機構が具体的に何を考えるか考えていきたい。

●また、学校、地域との交流会を展開していきたい。

村内業者今後の活用は(機構)

●工事に応じて資格要件を設定するが、村内業者が参画できるように意識してやっていきたい。

●門前町は基本的に住居ゾーンをJ・Vがどのように発注できるか積極的に働きかける。

●もう一度整理する必要がある、再度きちんと説明したい。

●植栽、緑地管理について、現在植栽工事を地元業者に区分して発注した。

門前町構想は(県担当)

●谷茶区まちづくり検討委員会を立ち上げる。

(村長)

●門前町構想は活かしているか気になっていた。

●県の方で具体化されていない。

●協議をする場が必要である。

どりがリードすべきか(県担当)

●地権者や関係団体の反対などがあって整備がはかどっていない。

●今後も谷茶区と勉強会を積極的に行い地権者や関係団体等と意見を聞き調整しながら実施に向けて検討していく。

●周辺整備は県で進めていきたい。村の協力も仰ぎたい。



▲全員協議会での説明（12月9日）

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第67号	平成22年度恩納村下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	既定の歳入歳出予算の総額から268万2千円を追加して、予算の総額4億4,176万3千円にするもの。	原案可決 (全会一致)
議案第68号	平成22年度恩納村水道事業会計補正予算(第3号)について	収益的支出の水道事業費用の予備費から営業費用に17万4千円を移す、資本的支出の補正額は54万7千円の増額で合計1億8,730万にする。	原案可決 (全会一致)
議案第69号	村道多幸山線道路改良工事請負契約の一部変更について	契約金額: 6,309万8,700円 増額金額: 957万4,950円 改定総額: 7,267万3,650円 事業量の増による変更	原案可決 (全会一致)
議案第70号	仲泊畑地かんがい施設工事請負契約の一部変更	契約金額: 9,276万7,500円 増額金額: 1,265万2,500円 改定総額: 1億542万円 事業量(配水管の延長)の増による変更	原案可決 (全会一致)
議案第71号	財産の無償貸付について	貸付先: 学校法人沖縄科学技術大学院大学学園 期間: 学園設置から10年経過した日、整備機構と協議の上今後定める。	原案可決 (全会一致)
議案第72号	村道の一部廃止	谷茶大袋原線 旧道路延長 574.93m 新道路延長 200m	原案可決 (全会一致)
報告第8号	平成19年度及び平成20年度決算に基づく財政健全化判断比率の再審査報告について	平成19年度 実質公債費比率 9.7を9.5に修正 将来負担比率 105.5を40.9に修正 平成20年度 実質公債費比率 9.8を9.6に修正 将来負担比率 43.3を29.6に修正	報告
報告第9号	恩納村立安富祖小中学校校舎改築併行防音工事(建築)請負契約専決処分の報告について	契約金額: 2億9,211万円 増額金額: 218万4千円 改定総額: 2億9,429万4千円 事業量(アルミサッシ防音用)の増による変更	報告
委員会発第8号	幼稚園教育の制度改善について	記事参照	原案可決 (全会一致)
委員会発第9号	TPP交渉への参加反対に関する意見書について	記事参照	原案可決 (全会一致)
委員会発第10号	米国普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める意見書について	記事参照	原案可決
	委員会の閉会中の継続審査の件	経済建設民生委員会で審査中の陳情 陳情第12号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書について	決定
	議員派遣の件	新人議員研修会 場所: 自治会館 期間: 1月26日	決定

議案等の審議結果一覧

平成22年第10回臨時議会

平成22年11月25日

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第57号	恩納村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	議員の期末手当を3.35ヶ月から3.2ヶ月に減額する。	原案可決 (全会一致)
議案第58号	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	村長、副村長の期末手当を3.1ヶ月から2.95ヶ月に減額する。 村長、副村長の給料月額を2,000円減額とする。	原案可決 (全会一致)
議案第59号	教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	教育長の給料月額を2,000円減額とする。	原案可決 (全会一致)
議案第60号	恩納村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	職員の期末手当を4.15ヶ月から3.95ヶ月に減額する。 職員の給料表の改定。	原案可決 (全会一致)
議案第61号	北部広域市町村圏事務組合理約の変更について	名護市からの負担金についての項目を追加する。	原案可決 (全会一致)
議員発議第1号	尖閣諸島海域での中国漁船領海侵犯事件に関する意見書	県民及び国民の生命及び領土、領海を守る立場から政府の対応に抗議し、意見書を提出する。	原案可決 (全会一致)
	議員派遣の件	①町村議会副議長研修会・交流会 場所: 自治会館 期日: 12月1日 ②町村議会常任委員長・副委員長実務研修会 場所: 自治会館 期日: 12月2日	決定

平成22年第11回定例議会

平成22年12月9日～16日

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第62号	恩納村税条例一部を改正する条例について	個人村民税の寄附金控除を拡充する。	原案可決 (全会一致)
議案第63号	恩納村立幼稚園預かり保育料徴収条例の制定について	預かり保育料の徴収の必要な事項を定める。 月額: 5,000円	原案可決 (全会一致)
議案第64号	恩納村テレビ共同送受信施設の設置及び管理に関する条例の制定について	地上デジタル放送の難視聴地域の解消のための送受信施設の設置、管理を定める。	原案可決 (全会一致)
議案第65号	平成22年度恩納村一般会計補正予算(第4号)について	既定の歳入歳出予算の総額に10億3,562万円を追加して、総額73億8,765万5千円にするもの。 ○北部地域園芸農業活性化事業 ○宇加地農道舗装実設計委託 ○山田校校舎改築工事	原案可決 (全会一致)
議案第66号	平成22年度恩納村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	既定の歳入歳出予算の総額に357万9千円を追加して、総額15億7,709万2千円にするもの。	原案可決 (全会一致)